

「学びの郷 南魚沼」生涯学習センターのイメージ(案)

(仮)学びの郷南魚沼生涯学習センター

- 拠点は、市民会館 2 階の旧図書館を改装し活用する。
 - ・インターネット環境整備機材配置(検索用パソコン 2 台)、コピー機等事務機能
 - ・フロアにテーブル・イス、同時に複数グループ討議できるよう簡単に間仕切りできるパーテーション・集いの場(カフェ・休憩)の提供など
 - ・土・日・休日の会議利用の便宜
- 活動範囲は、市内全域の施設や野外フィールドなどのほか市外でも
- 推進組織は、仮称「学びの郷南魚沼プラン推進委員会」
 - ・委員は生涯学習・社会教育関係者や市職員、民間団体等を含め 10 人くらいで、主体性を持ち、市民感覚で柔軟かつ機能的・能動的に動けるように。
 - ・具体的に事業推進する下部組織として、
 - ① こども たんけん南魚沼
 - ② 大人 市民カレッジ
 - ③ 高齢者 幸齢義塾
- ◎ 事務局は、社会教育課生涯学習班

- ・市民会館開館時間内は自由に入出入り可能に。

事業費 事業経費はなるべく懸けない。ふるさと納税等寄附コースの新設検討
 自主事業（現、社会教育・生涯学習・公民館事業などの整理移管の検討）
 市民提案型事業への支援地域コミュニティ、青少年健全育成、郷土史等研究などの組織活動との連携支援、国際大学、北里学院、基幹病院などの市民向け公開講座の共催や後援等の連携
 NPO団体、CCRC、IターンUターン人材の講師等活用

課 題

- ・ボランティア・コーディネーター等の人材確保の方法など(登録・人材バンク制度の活用方法)
 ※講師等の謝礼は市の報酬基準を適用。(日報酬 9,600 円、4 時間以内 4,800 円など)
- ・火気については使用できない。調理なども不可。自販機は可能。
- ・市民会館使用ため、指定管理者(公社)とも協議等が必要

